

## 教育基本法 第1条（教育の目的）

教育は、人格の完成を目指し、**平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民**の育成を期して行わなければならない。



札幌市の教育が目指す人間像

## 「自立した札幌人」

- ▶ 未来に向かって創造的に考え、主体的に行動する人
- ▶ 心豊かで、自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人
- ▶ ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人

### 「自立した」とは・・・

幼児期から育まれる自己肯定感や自己有用感を土台とし、発達の段階に応じて、様々な社会体験を通じ、自らの人生を自らの責任で引き受け、**一人の人間として生きる自覚**をもち、**未来に向かって行動**していくことです。

更に、本計画では、**他者を自分と同じ「自立した存在」として尊重し、共に支え合いながら生きていく「共生」の思い**を併せもつことも含みます。

### 「札幌人」とは・・・

札幌の豊かな自然や社会、文化の中で、学び、生活する経験を通して育まれる**創造力や豊かな心などの総合的な素養**を生かし、**ふるさと札幌への思い**を心にもち、伝統や文化を尊重しながら、**国際的な視野**ももって、札幌をはじめ様々な地域や国で活躍する人のことです。

※札幌市教育振興基本計画より一部要約

## 基本的方向性 1

### 自ら学び、共に生きる力を培う**学び**の推進

市民一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続けることができるよう、学校教育と生涯学習における縦の接続と横の接続を強化し、「自ら学び、共に生きる力を培う**学び**の推進」を図りながら「自立した札幌人」として必要な資質・能力を育みます。

## 基本的方向性 2

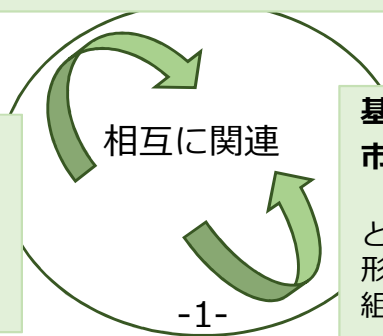
### 多様な学びを支える**環境**の充実

市民一人一人が、多様なニーズに応じた学びの機会を得ることができるよう、各成長段階での良質な教育の機会の保障の観点から、「多様な学びを支える**環境**の充実」を図ります。

## 基本的方向性 3

### 市民ぐるみで支え合う**仕組み**づくり

市民一人一人が、学びを仲立ちとして相互に連携・協力するとともに、この関係性が市内各所で定着して学びのコミュニティが形成されるよう、「市民ぐるみで支え合う**仕組み**づくり」に取り組めます。



# 「札幌市教育が目指す人間像」の変遷について（参考）

(H17～H22) 札幌市教育推進の目標  
21世紀を切り拓く人間性豊かで創造性あふれる市民

(H20～) 札幌市教育推進の包括的な方針  
**自立した札幌人の育成**

(→「札幌らしい特色ある学校教育の推進に係る検討プロジェクト」において、有識者や保護者、学校関係者などの意見を踏まえ、ふるさと札幌に立脚して「生きる力」をはぐくみ、世界にはばたく自立した市民の育成を目指して、包括的な方針の一つとして掲げた。)

※目標は改定せず

改訂

(H23～) 札幌市教育推進の目標  
**未来を切り拓く人間性豊かで創造性あふれる自立した札幌人**

札幌の礎を築いた先人たちの心を継承し、豊かな創造力を発揮しながら、お互いの立場と人権を尊重し合い、ねばり強くたくましく挑戦し続けることを通して「ふるさと札幌」を誇りとしながら、未来を豊かにたくましく生きる「自立した札幌人」の育成を目指します。

- ▶ 自らの夢や希望に向かってねばり強く挑戦し、努力するたくましい心身をはぐくむ
- ▶ ふるさと札幌に根ざし国際社会で活躍する豊かな創造性をはぐくむ
- ▶ 自他ともに尊重しともに支え合う思いやりのある心をはぐくむ

(→「21世紀」という表現が時代にそぐわなくなったため「未来」とし、学校教育・特別支援教育・生涯学習全てを含めて「**自立した札幌人**」を目指すこととする。)  
※抜本的な見直しは行っていない

札幌市教育振興基本計画検討策定

(H25.4.19 第1回新たな「札幌市教育振興基本計画」検討会議) 札幌市教育が目指す人間像（案）  
**自立した札幌人**

一人の人間として生きる自覚と責任を負いつつ、他者を尊重し、共に支え合う、ふるさと札幌に根ざしながら国際的な視野を持ち、未来を志向する創造的で心豊かな人間

(検討会議での意見)

- ・人間像の説明文を3文程度に分けて、家庭・教育関係者など、誰が見てもわかりやすくしたほうがよいのではないか。
- ・「根ざす」「志向する」など、内向きともとれる表現が多いので、飛躍していく、アクティブで力強いイメージの表現としてはどうか。
- ・自立して自ら学ぶ前に、「自己肯定感」というキーワードが大事であり、まず最初に盛り込むべきではないか。
- ・札幌以外から来る人もおり、また、社会に出るときも必ずしも札幌という意識ではないため、「ふるさと札幌」という表現は適切ではないのではないか。
- ・「国際的な視野」は大事だが、「国際的」よりも「異文化理解」や「多文化共生」という少し広げた表現のほうがよいのではないか。

(H26～) 札幌市の教育が目指す人間像  
**自立した札幌人**

- ▶ 未来に向かって 創造的に考え、主体的に行動する人
- ▶ 心豊かで 自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人
- ▶ ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人

# 国の振興基本計画の動向について

## 【現行計画（H30～R4）】

### 第3期教育振興基本計画（平成30年6月策定）

- ・第2期計画の「自立・協働・創造」の3つの方向性を実現するため生涯学習社会の構築をめざすという理念を継承したもの。
- ・教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」の最大化に向けた視点と、教育施策を推進するための基盤に着目。5つの基本方針を示している。

#### <基本的な方針>

- 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 3 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 5 教育政策推進のための基盤を整備する

## 【次期計画（計画期間：R5～R9）】

### 次期（第4期）教育振興基本計画（現在、中教審で審議中。令和4年度末までに答申）

- ・「令和の日本型学校教育」答申（R3.1）：「個別最適な学び」と「協働的な学び」  
一人一台環境の実現や小学校35人学級の計画的整備など教職員定数の改善 等
- ・新型コロナウイルス感染症を契機として  
デジタルがもたらす学びにおける可能性の提示、学びの在り方の変容  
学校の持つ福祉的機能や教師の存在意義、リアルな体験の持つ価値の再認識

#### <次期基本計画のコンセプト>

- ▶ 予測困難な時代の象徴としての新型コロナウイルス感染症拡大による影響、浮彫になった課題と学校・教育の役割、学びの変容
- ▶ 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すための教育の実現に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、学習者（学修者）主体の学び等の充実を図り、日本型ウェルビーイングの概念整理を踏まえた上で、多様な個人の**ウェルビーイング**の実現を目指す。また、共生社会の実現・地域コミュニティの再構築に向けて、個人と社会のウェルビーイングの実現をつなぐ学校や社会教育施設の役割・機能を重視する。
- ▶ 少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出していく人材を育むため、主体的に社会の形成に参画し、生涯にわたって学び続ける学習者としての基盤を学校教育において培うとともに、社会や時代の変化に応じて課題を発見・解決するための学びを特に高等教育においていっつでも受けられる教育・社会環境を整備する。
- ▶ コロナ禍を契機としてデジタルが飛躍的に社会に浸透。将来の社会基盤に変化をもたらすデジタルトランスフォーメーションを教育・学習全体の中に組み込む。
- ▶ これらを通じた価値創造により、人間中心社会としての**Society5.0**の実現を目指す。

（第6回教育振興基本計画部会（R4.8.23開催）より抜粋）

# 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンの動向について

## 位置付け及び教育振興基本計画との関係性について

- ▶ 令和4年度～13年度までの今後10年間のまちづくりの基本的な指針として、札幌市自治基本条例第17条の規定に基づき策定
- ▶ 計画体系では最上位に位置し、**教育振興計画含め、各分野における個別計画はこれに沿って策定**

## 目指すべき都市像とまちづくりの重要概念

### 目指すべき都市像

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、豊かな暮らしと  
新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ



### まちづくりの重要概念

#### ユニバーサル(共生)

誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会の実現

#### ウェルネス(健康)

誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会の実現

#### スマート(快適・先端)

誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現

## まちづくりの分野、基本目標及び目指す姿について

- ▶ 目指すべき都市像の実現に向け、まちづくりの分野—基本目標—目指す姿を定めている。

★：教育に深く関係する分野   ★：教育に関係する分野

### 目指す姿（教育に関係する分野から一部抜粋）

まちづくりの分野	まちづくりの基本目標
1 子ども・若者	★ 1 安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち
	★ 2 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち
	★ 3 一人一人の良さや可能性を大切に教育を通して、子どもが健やかに育つまち
2 生活・暮らし	★ 4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち
	5 生活しやすく住みよいまち
3 地域	★ 6 互いに認め合い、支え合うまち
	7 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち
4 安全・安心	★ 8 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち
	★ 9 日常の安全が保たれたまち
5 経済	10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち
	11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち
	12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち
6 スポーツ・文化	★ 13 世界屈指のウィンタースポーツシティ
	★ 14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しめるまち
	★ 15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち
7 環境	★ 16 世界に冠たる環境都市
	17 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち
8 都市空間	18 コンパクトで人にやさしい快適なまち
	19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち
	20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち

### ▶ 子ども・若者分野

- **子どもの権利**の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸びと過ごしています。また**虐待やいじめ**など、権利が侵害される事態が未然に防がれ、事態が起きても迅速かつ適切に対応しています。
- 支援や配慮が必要となる子どもや家庭が、**困難な状況に応じた適切なサポート**を受け、安心して過ごしています。
- 若者は、**質の高い教育**などを通して成長するとともに、**安心して過ごせる居場所**をよりどころに社会とつながり、将来への希望をもちながら輝いています。
- **多様性が尊重された環境**の下で、子どもは、**自分の特性や興味・関心に応じた学びと他の子どもとの協働的な学び**を通して、**自立**に向けて成長しています。
- 子どもは、**生涯にわたって心身の健康の保持増進**を図る資質や能力を身に付けています。
- **地域社会での体験活動**など、**多様な学びの機会**が提供され、**学校、家庭、地域、企業等が連携**して子どもの成長を支えています。

### ▶ 生活・暮らし分野

- **誰もが生涯にわたって学び、また学び直し**をすることができ、その成果が日々の生活はもとより、まちづくり活動や仕事、ボランティア活動などに生かされています。



# (仮称) 第2期札幌市教育振興基本計画の核となる方向性 (例示)

